

決算補足説明資料

2026年3月期 通期

2026年5月15日

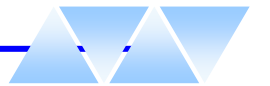
株式会社電業社機械製作所

証券コード 6365



1	2026年3月期 連結決算の状況	_____	P. 2
2	中期経営計画2025の振り返り	_____	P. 7
3	株主還元	_____	P. 14
4	TOPICS	_____	P. 17

1 2026年3月期 連結決算の状況



- 当社グループの当連結会計年度における受注高は、前連結会計年度比**100.8%**の**269億63百万円**となりました。
- 売上高は、前年度からの受注残の売上が順調に進捗したことから、前連結会計年度比**100.4%**の**281億89百万円**となりました。
- 営業利益は前連結会計年度比**108.0%**の**34億95百万円**、経常利益は同**107.1%**の**36億40百万円**となりました。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は同**107.8%**の**26億15百万円**となりました。

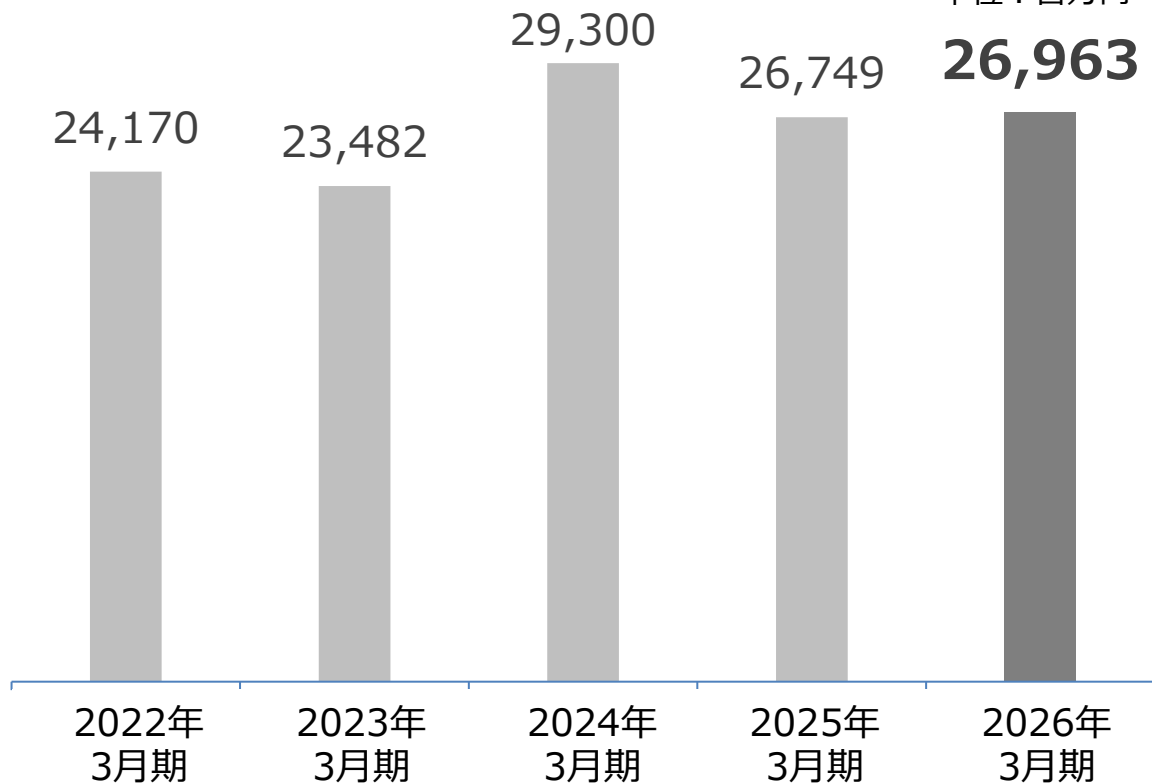
単位：百万円

連結経営指標	2025年3月期	2026年3月期	前期比 (増減額)
受注高	26,749	26,963	214
売上高	28,077	28,189	112
営業利益	3,235	3,495	259
売上高営業利益率	11.5%	12.4%	0.9pt
経常利益	3,400	3,640	240
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,426	2,615	189

■ 受注高、売上高の推移は以下の通りです。**売上高は過去最高額**となりました。

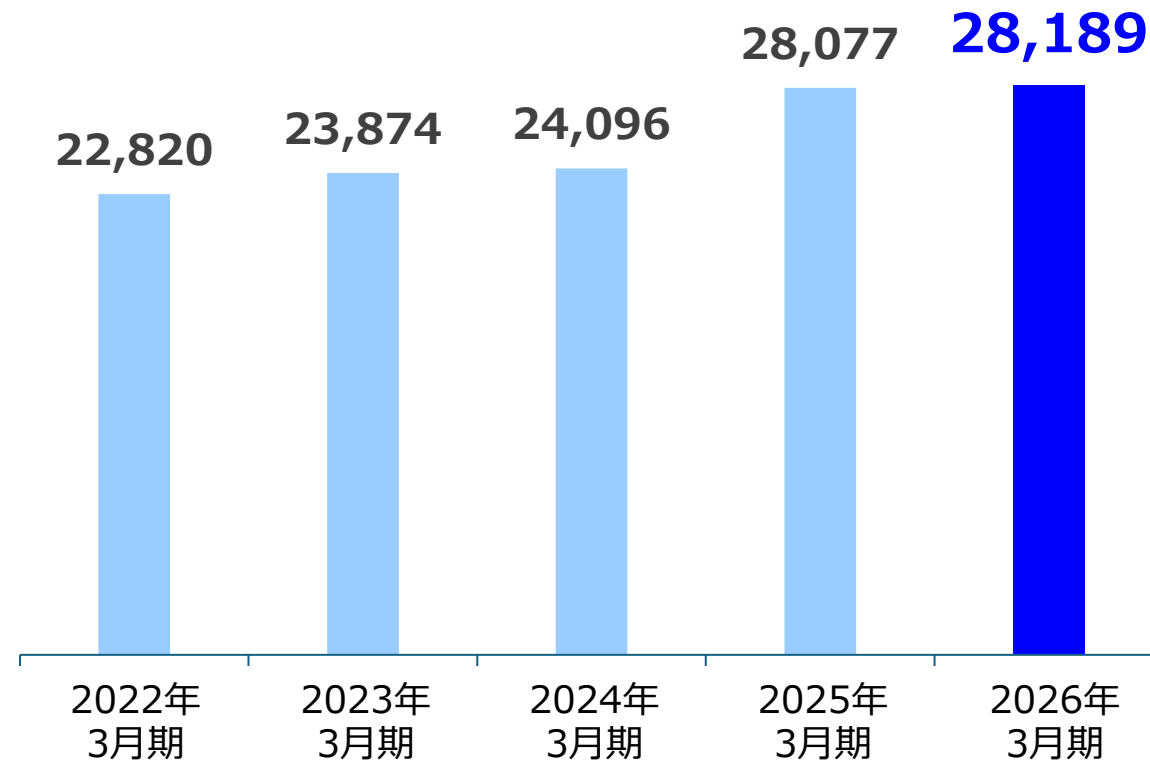
受注高の推移

単位：百万円



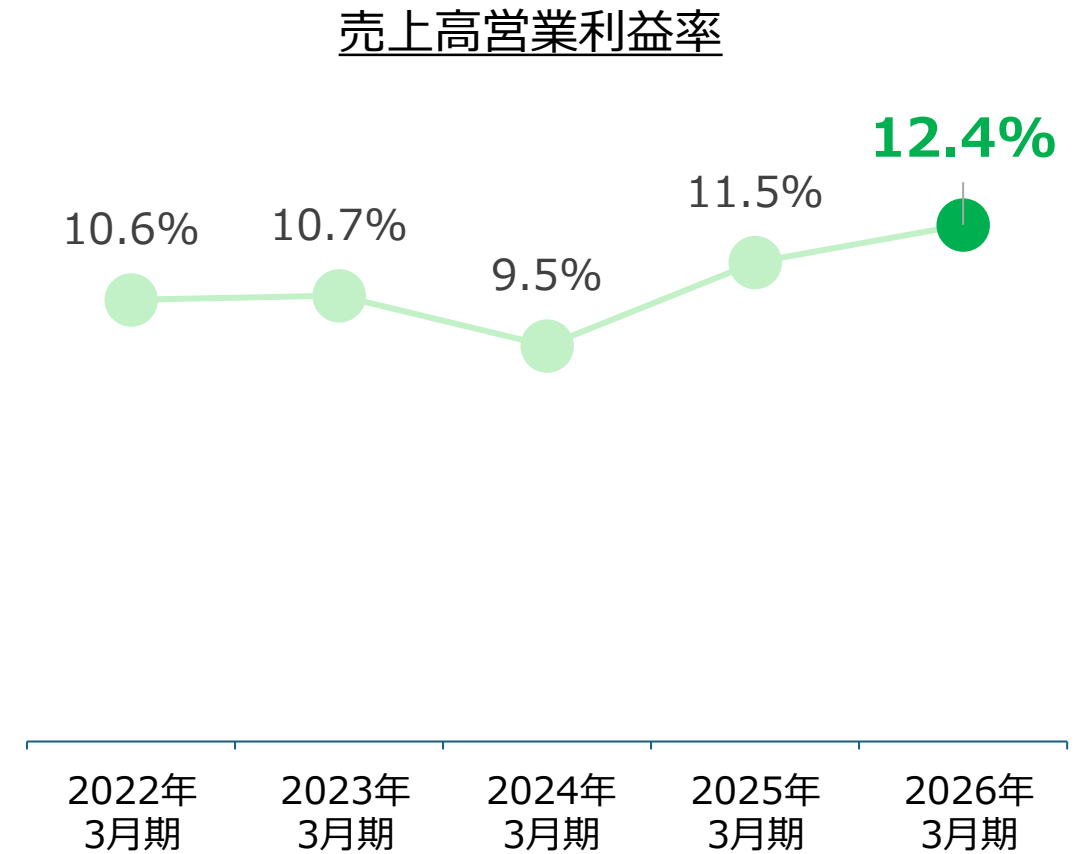
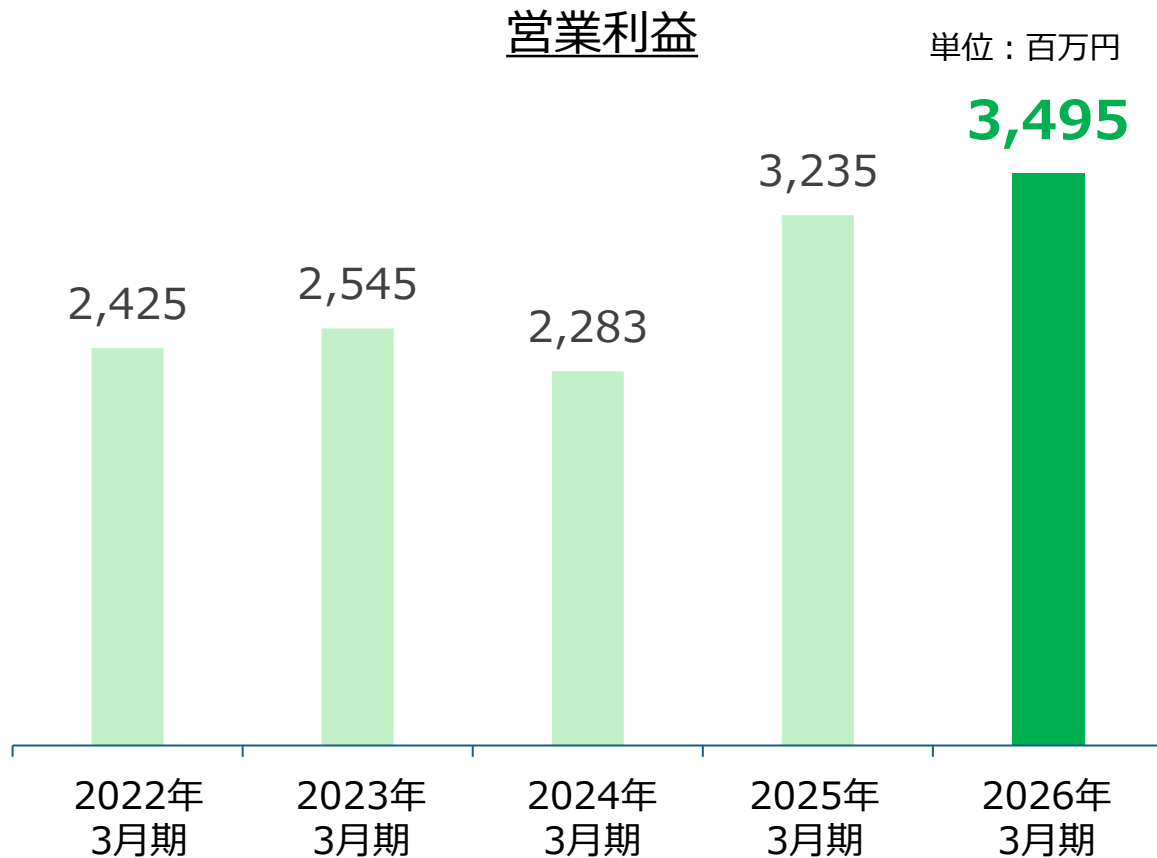
売上高の推移

単位：百万円



業績ハイライト ・ 営業利益 / 売上高の推移

- 営業利益および営業利益率の推移においても、**営業利益は過去最高額**となりました。
- **売上高営業利益率も過去最高**となりました。



業績ハイライト ・ 部門別受注高 / 売上高

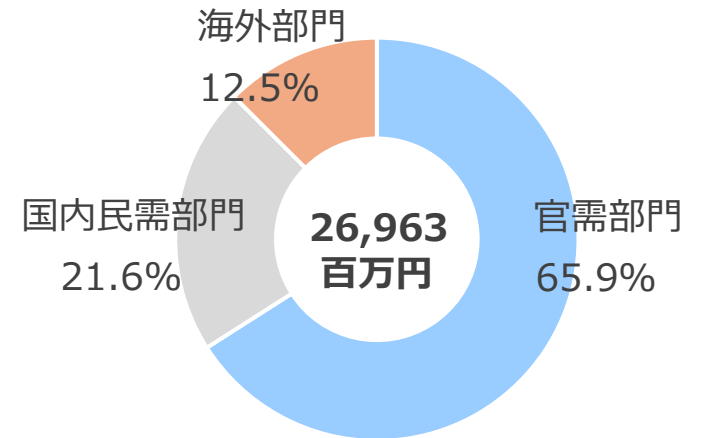
- 部門別の受注高は、**官需部門と国内民需部門は増加**しましたが、海外部門が減少しました。
- 部門別の売上高は、**国内民需部門と海外部門は増加**しましたが、官需部門が減少しました。

2026年3月期 部門別受注高の部門割合

部門別受注高

単位：百万円

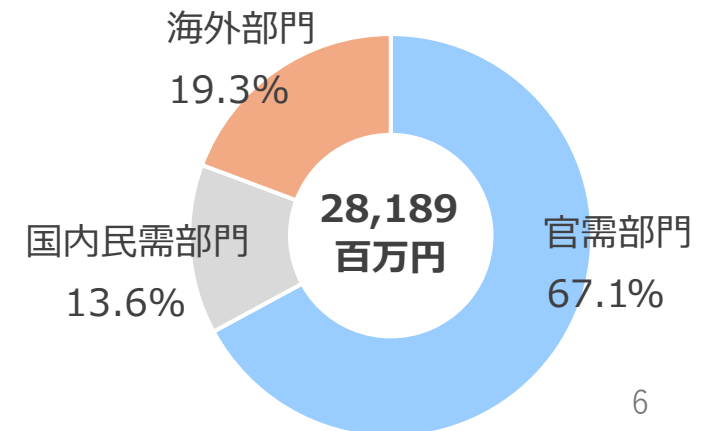
	2025年3月期		2026年3月期	
	実績	構成比	実績	構成比
官需部門	17,348	64.9%	17,782	65.9%
国内民需部門	4,443	16.6%	5,812	21.6%
海外部門	4,956	18.5%	3,369	12.5%
受注高	26,749	100.0%	26,963	100.0%



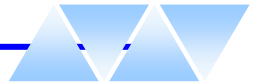
部門別売上高

官需部門	19,773	70.4%	18,919	67.1%
国内民需部門	3,325	11.9%	3,820	13.6%
海外部門	4,978	17.7%	5,449	19.3%
売上高	28,077	100.0%	28,189	100.0%

2026年3月期 部門別売上高の部門割合

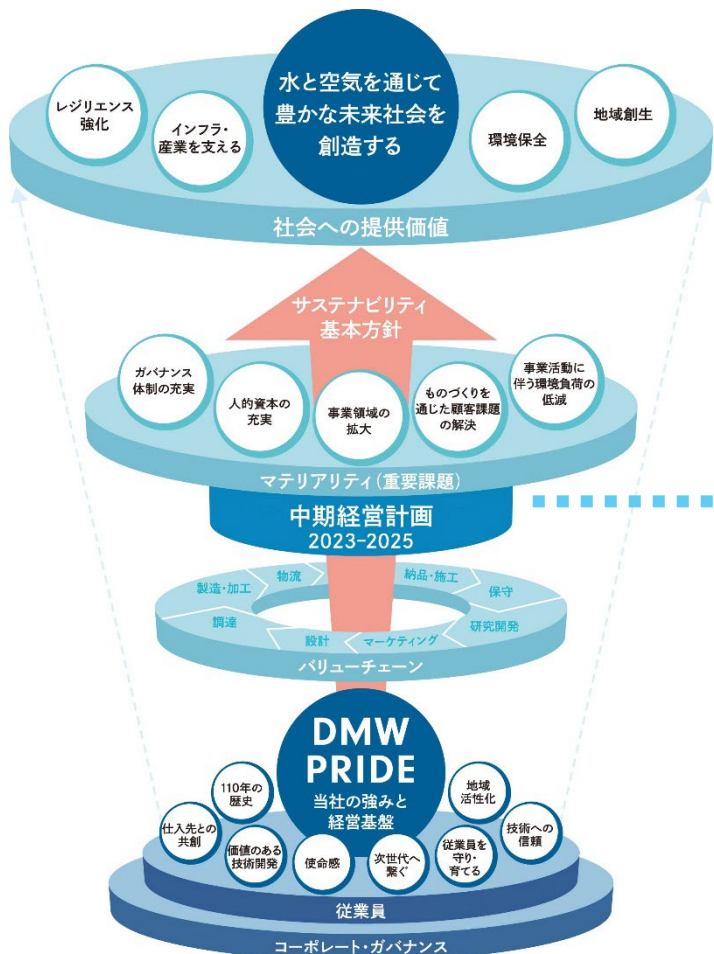


2 中期経営計画2025の振り返り



DMWの価値創造

電業社グループは、お客様やお取引先様、地域社会の皆様、従業員など、あらゆるステークホルダーの皆様と培ってきた経営基盤を強みとして、「水と空気を通じて豊かな未来社会を創造する」というパーパスを実現します。



中期経営計画2025

Powering Passion
その情熱を力に。

- 2023年度から3年計画で取り組む「中期経営計画2025」を策定しています。
- 本中期経営計画では“Powering Passion”「その情熱を力に。」をスローガンに掲げ、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、目標達成を目指します。

連結経営指標	受注高	海外受注比率	営業利益	売上高営業利益率	ROE	配当性向
目標値	270億円	20%	30億円	11%	9%	30%

最重要課題

- グローバル事業領域の拡大
- グローバル市場に対応する生産効率の追求
- コア事業の安定収益体制化
- 人的資本経営の実践
- 持続可能な社会との共存共栄

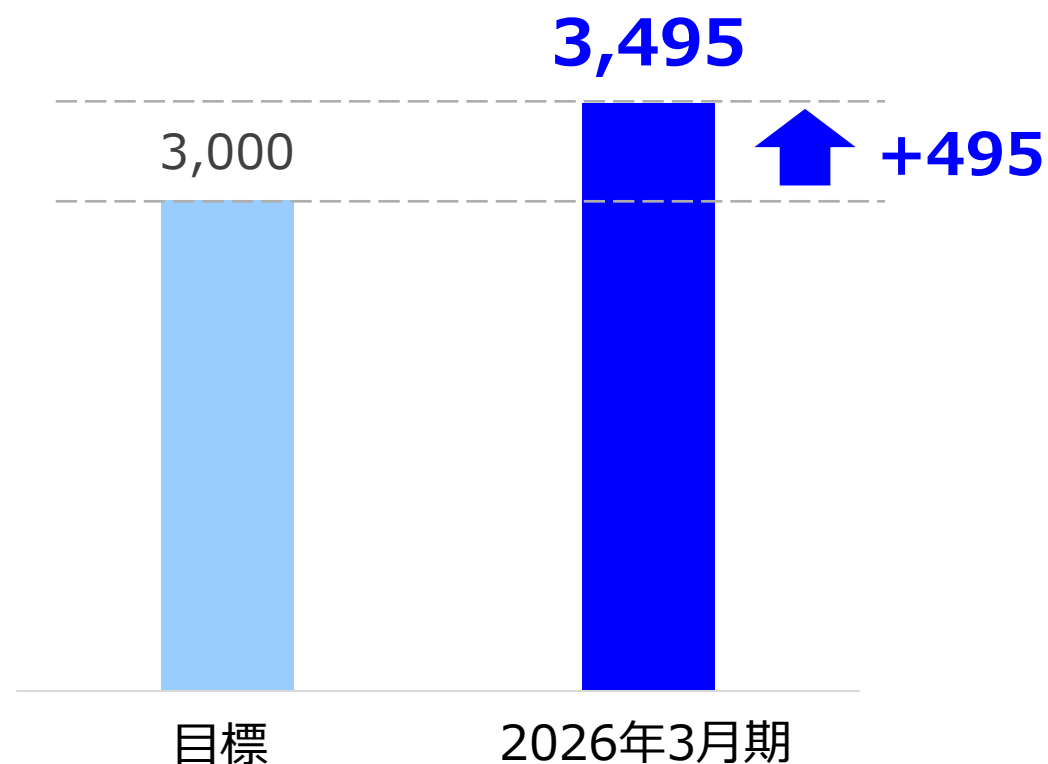
- 2026年3月期は、中期経営計画の目標に対して以下の通りとなりました。

単位：百万円

連結経営指標	中期経営計画 目標値	2026年3月期
受注高	27,000	26,963
海外受注比率	20%	12.5%
営業利益	3,000	3,495
売上高 営業利益率	11%	12.4%
ROE	9%	8.9%

営業利益

単位：百万円



- 中期経営計画の3年目となる2025年度は、
グローバル事業領域の拡大と持続可能な社会との共存共栄に向けた施策に注力し、取り組みを推進しました。

No.	最重要課題	重要課題	2025年度の計画	2025年度の実績・取り組み
1	グローバル事業領域の拡大	選択と集中によるグローバル展開	<ul style="list-style-type: none"> DMWインド社をグローバル拠点とした海外事業展開の強化と拡大 	<ul style="list-style-type: none"> DMWインド社において構築した一貫生産体制を活用し、大型多段高圧ポンプを初受注
2	グローバル市場に対応する生産効率の追求	デジタル技術活用の推進による業務の全体最適化	<ul style="list-style-type: none"> 3次元データを活用した業務の全体最適化 	<ul style="list-style-type: none"> 3次元データを活用した機械・プラント設計の推進による、業務の効率化と手戻り作業の未然防止
3	コア事業の安定収益体制化	風水力機械市場でのシェア拡大	<ul style="list-style-type: none"> 競争優位製品の採用に向けた積極的な提案活動 	<ul style="list-style-type: none"> 競争優位製品であるAM-Turboの継続的な提案営業の実施により、累計受注台数114台を達成 豊富な受注実績を背景としたP&M（パーツアンドメンテナンス）ビジネスの強化
4	人的資本経営の実践	安全・安心で働きやすい職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営優良法人2026（大規模法人部門）認定とスコアアップに向けた取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 健康経営優良法人2026（大規模法人部門）に認定 食育実践優良法人2026に認定
5	持続可能な社会との共存共栄	環境負荷低減に向けたものづくりの事業体制確立	<ul style="list-style-type: none"> 水処理設備用エネルギー回収装置「DeROs-E」の販売強化 	<ul style="list-style-type: none"> 水処理設備用エネルギー回収装置「DeROs-E」が省エネ大賞 経済産業大臣賞受賞と1号機受注

選択と集中によるグローバル展開

DMWインド社が大型多段高圧ポンプを初受注

- グローバル事業領域の拡大に向け、DMWインド社をグローバル拠点と位置づけ、海外事業展開の強化と拡大を推進しています。
- DMWインド社は、2024年度に受電容量を拡大し、**大型多段高圧ポンプの製造から試運転まで一貫して行える生産体制を構築**しました。
- **これまでの設備投資が実を結び、2025年度にDMWインド社は大型多段高圧ポンプの初受注に至りました。**
- 今後も**DMWインド社を拠点として、グローバル市場での競争力強化**を図っていきます。

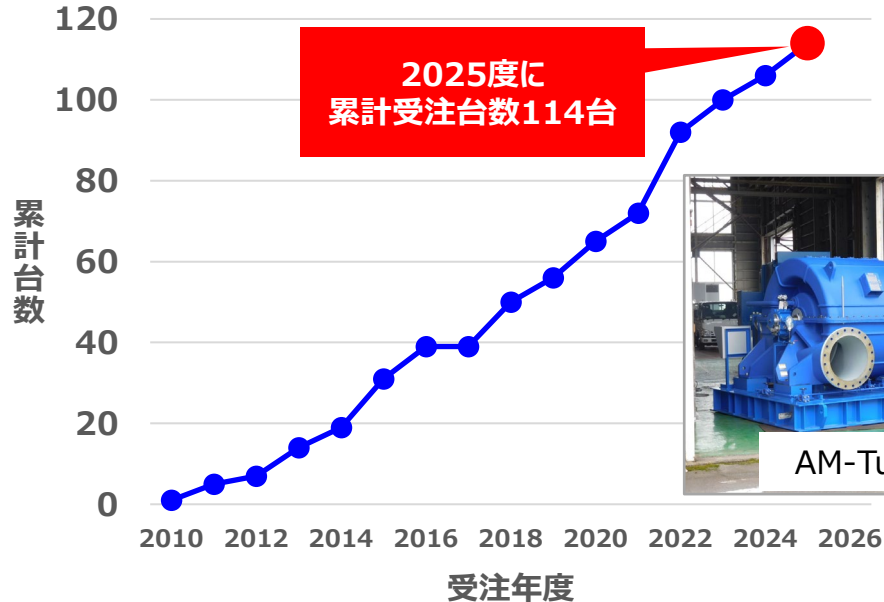


DMWインド社で初受注した大型多段高圧ポンプ

風水力機械市場でのシェア拡大

AM-Turbo®の継続的な提案営業

- 平成29年度に**優秀省エネルギー機器経済産業大臣賞**を受賞した「AM-Turbo®」は、これまで着実に納入実績を積み重ね、2025年度で国内・海外含む**累計受注台数は114台**となりました。



AM-Turbo® 受注累計の推移 (国内・海外)

P&M (パーツアンドメンテナンス) ビジネスの強化

- 当社では、過去の豊富な納入実績を背景に、機器のメンテナンス履歴をデータベース化した「メンテナンス管理システム」を活用し、機器の劣化状況に応じた**整備提案を積極的に行っています**。これにより、**設備の長寿命化**を図るとともに、**安定収益の確保**に努めています。



整備前

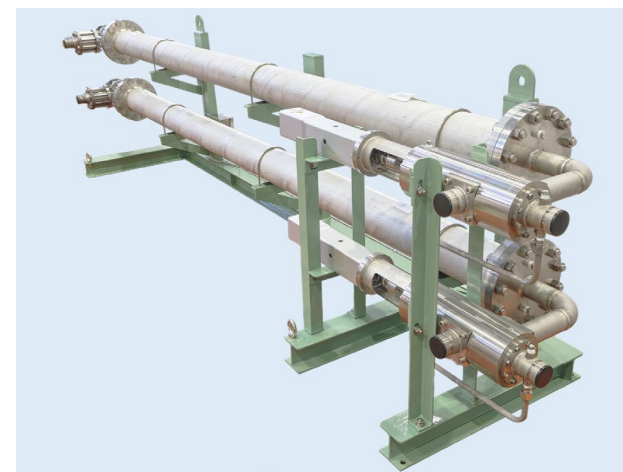


整備後

水処理設備用エネルギー回収装置「DeROs-E[®]」の販売強化

水処理設備用エネルギー回収装置 **DeROs-E[®]**
2025年度（令和7年度）省エネ大賞 経済産業大臣賞受賞と1号機受注

- 水処理設備設備用エネルギー回収装置「**DeROs-E[®]**」が、「**2025年度（令和7年度）省エネ大賞**」（一般財団法人省エネルギーセンター主催）の製品・ビジネスモデル部門 電気需要最適化分野において、**最上位の「経済産業大臣賞」**を受賞しました。
- 省エネ大賞 経済産業大臣賞受賞を契機に、これまでのPR活動が実を結び、**2026年3月に1号機を受注**しました。
- 今後は、計画生産体制を確立し、**量産化と拡販を通じた販売数量の拡大**を図ってまいります。



DeROs-E[®]



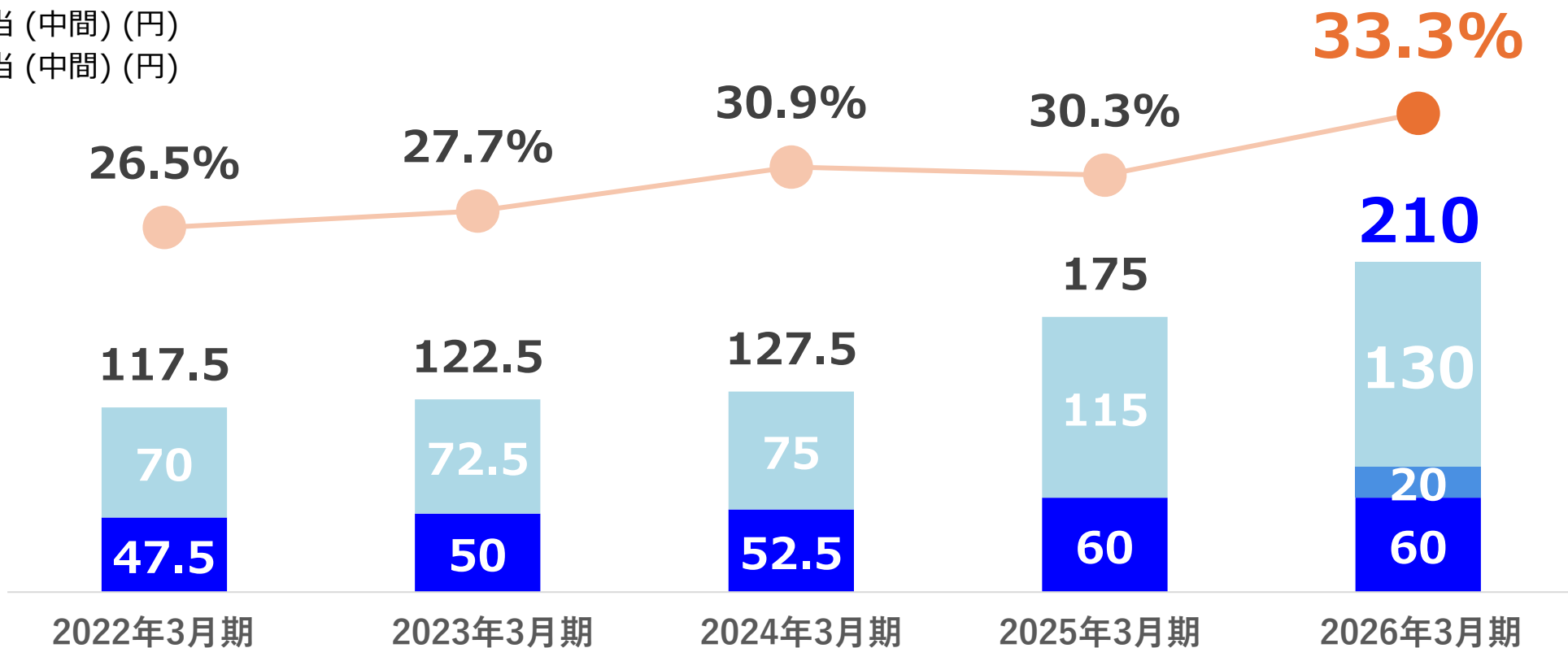
表彰式の様子

3 株主還元



- 中期経営計画2025において、**配当性向の目標を30%**としております。
- 今期の年間配当金は、2025年3月期に対して35円増配の**1株当たり210円**（普通配当190円、記念配当20円）となりました。

- : 配当性向 (%)
- : 普通配当 (期末) (円)
- : 記念配当 (中間) (円)
- : 普通配当 (中間) (円)



- 当社は、安定的な配当を基本とし、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社の成長を中長期的な視点で見守っていただきたいとの考えのもと、**株主優待制度を実施**しています。



A : 静岡県産新茶

優待品（静岡県産新茶）の価格改定について

静岡県産新茶の価格上昇を踏まえ、優待品につきましては、内容量・品質を維持する形でご提供するため、以下のとおり価格改定を実施いたします。

- ・ 1,500円相当 ⇒ 1,750円相当
- ・ 3,000円相当 ⇒ 3,500円相当

+



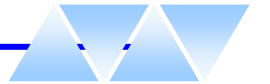
B : QUOカード

		保有期間		基準日
		3年未満	3年以上	
保有株式数	100株以上 300株未満	A : 静岡県産新茶 (1,750円相当)	A : 静岡県産新茶 ※1) (1,750円相当) B : QUO カード (1,000円分)	3月末日
	300株以上	A : 静岡県産新茶 (3,500円相当)	A : 静岡県産新茶 ※2) (3,500円相当) B : QUO カード (2,000円分)	

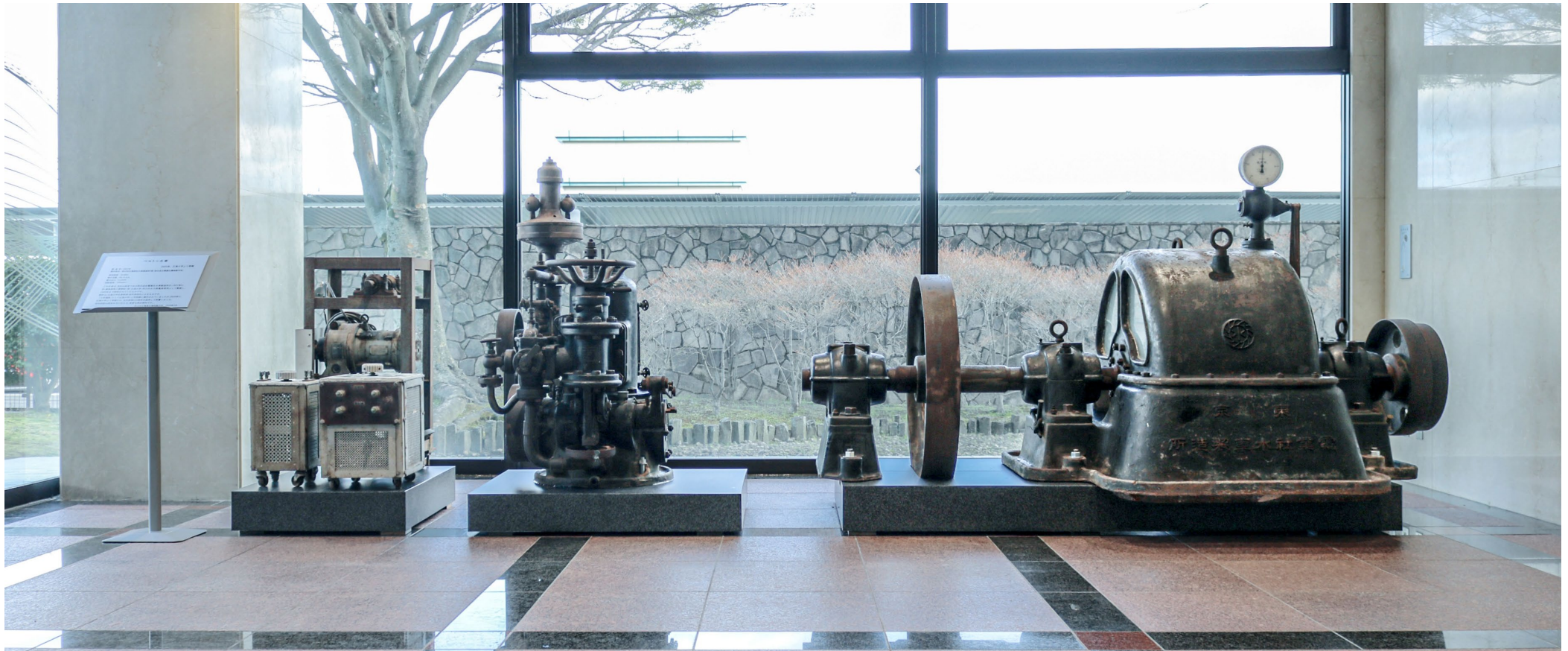
*1) 3年以上継続保有の株主様とは3月末日と9月末日の株主名簿に連続して7回以上、当社株式1単元（100株）以上を同一株主番号で記載または記録された株主様をいいます。

*2) 3年以上継続保有の株主様とは3月末日と9月末日の株主名簿に連続して7回以上、当社株式3単元（300株）以上を同一株主番号で記載または記録された株主様をいいます。

4 TOPICS



- 2025年11月、**広島大学工学部が保有していた単輪単車ペルトン水車をご寄贈いただきました**
- この水車は、**故・高井英明広島大学名誉教授の設計**によるもので、**1921年に当社の前身である株式会社電業社水車製造所**が**旧・広島高等工業学校（現・広島大学）から受注・製造**したものです。
- 当社三島事業所本館のエンタランスに展示しています。お越しの際は、ぜひご覧ください



■ 免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- 本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因（業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況などが含まれます）によって大きく異なる結果となる可能性があります。

■ お問い合わせ先

株式会社電業社機械製作所 サステナビリティ推進室

電話番号：055-975-8221

お問い合わせは、弊社ホームページの「お問い合わせ」よりご連絡ください。

(<https://www.dmw.co.jp/contact/input.html>)